

志賀原子力発電所 1号機の第 8 回定期検査終了について

平成16年1月15日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所 1号機（沸騰水型、定格電気出力 54 万キロワット）は、平成 15 年 4 月 21 日から第 8 回定期検査を実施していましたが、本日、15 時 30 分、経済産業省による最終検査（総合負荷性能検査）に合格し、定期検査を終了いたしました。

1. 定期検査のための期間

第8回定期検査では、炉心シュラウド及び原子炉冷却材再循環系配管等について設備の健全性を早期に確認する観点、需給状況などを総合的に勘案し、全数点検することとしたため、定期検査期間を延長しました。

平成15年4月21日から平成16年1月15日まで 270日間

- ・発電停止 : 平成15年 4月21日
- ・発電開始 : 平成15年12月15日
- ・総合負荷性能検査 : 平成16年 1月15日

2. 定期検査を実施した主な設備

下記の設備について定期検査を実施しました。

- (1) 原子炉本体 : 原子炉圧力容器、炉内構造物、燃料など
- (2) 原子炉冷却系統設備 : 主蒸気系、給水系などの配管類、熱交換器、ポンプ、弁類など
- (3) 計測制御系統設備 : 冷却材圧力、流量計測装置などの計測制御系統設備
- (4) 燃料設備 : 燃料取扱装置
- (5) 放射線管理設備 : 放射線モニタリング設備
- (6) 廃棄設備 : 放射性廃棄物処理設備、貯蔵設備など
- (7) 原子炉格納設備 : 原子炉建屋、原子炉格納容器など
- (8) 非常用予備発電設備 : 非常用ディーゼル発電設備など
- (9) 蒸気タービン : 主要弁類、補機類など
- (10) 電気設備 : 発電機、変圧器等など

3. 定期検査期間を利用して実施した主な工事等

(1) 出力領域計測装置検出器取替

計測制御系統設備の核計測装置のうち出力領域計測装置の検出器集合体(全数20体、検出器個数80個)4体を取り替え、性能維持を図りました。

(2) 制御棒駆動機構取替

制御棒駆動機構89体のうち分解点検を行う13体について、同一設計の予備品と取り替え、点検作業の効率化を図りました。

(3) 燃料の一部取替

原子炉内の全燃料(368体)のうち、64体を新燃料に取替えました。

(4) 炉心シュラウド周溶接線点検

炉心シュラウドの全ての周溶接線を点検し、ひびは確認されませんでした。

また、応力腐食割れに対する予防保全対策としてウォータージェットピーニングを行いました。

(5) 原子炉冷却材再循環系配管等点検

原子炉冷却材再循環系配管等の全ての溶接部95箇所を点検し、ひびが確認された6箇所については、新品の配管と取替えました。

また、新品と取替えた箇所について応力腐食割れに対する予防保全対策として水冷溶接等を行いました。

(6) 1、2号機接続工事

1号機高圧炉心スプレイディーゼル補機冷却水系と2号機原子炉補機冷却水系の接続工事、及び1号機不活性ガス系と2号機不活性ガス系の接続工事を実施し、共用化を図りました。

以 上